淀川区教育行政連絡会「中学校の部」議事録（非公開）

壁

日 時 令和3年11月16日（火）09:30～10:10
場 所 淀川区役所 5階 区長応接室
出席者 学校長：東三国 三国 十三 新北野 美津島
区役所：淀川区 岡本 淀川区担当教育次長（区長）
井上 淀川区教育担当課長
生駒 淀川区教育担当課長代理
岡田 教育政策課担当係長
石田 教育政策課担当係長
湧田 教育政策課担当係員

傍 聴：0人

資料1 令和4年度教育支援担当関係事業一覧
資料2 「ヨドネルすいみん月間」における取組について（依頼）
資料3 「淀川区冬休み子ども相談」の広報協力について
資料4 民間事業者を活用した課外授業ヨドジュクの無料体験会の実施について

○岡本区長

皆さんおはようございます。

○校長

おはようございます。

○岡本区長

区長の岡本でございます。本日も早朝から区役所までお越しいただきまして誠にありがとうございます。今日の議題の中にもあるんですけれども、令和4年度の予算編成状況でございます。例年は区役所として、予算が固まってから、校長先生方にお示しをしてるということでお聞きをしておるんですけれども、区役所内で一定、計数整理が終わりましたので、本日、あくまでも案という形ですが、お示しをさせていただいております。ちなみに財政局から、今年度の区まちづくり推進費の予算配分額については、5.8%の削減をされておりまして、いきなり私1年目の予算編成で削減から取り組まないといけないような状況にはなっております。この後のご説明で見ただけであればと思うんですけども、教育委員会からの予算も含めまして淀川区の教育関係予算については、一応スクラップ&ビルドしながら、今年度予算は枠としては維持できたという風に考えております。これはあくまでも区役所での計数整理が終わった段階ですので、最終の予算案ではないということについては、ご了承をいただきたいということでよろしく願いいたします。また、あわせて来年度の運営方針案の素案が昨日ホームページの方でアップをいたしております。今日ちょっと資料として添付はできなかったのですが、誠に申し訳ございません。昨日の夕方にアップされていたみたいですが、私の方が今日気づきまして、よろしければホームページの方を見ただけであればと思います。最後にこの時期、非常に寒暖差激しい時期でございますので、先生方くれぐれもご自愛いただきますようお願い申し上げます。冒頭のごあいさつとさせていただきます。本日はご出席いただき誠にありがとうございます。

○井上課長

それではレジュメめくっていただいて、1枚目、資料右肩に資料1と書いております、淀川区教育支援担当関係事業一覧を見ていただいて、変更点と要点を絞ってご説明させていただけたらと思います。

まず一番上の事業名の欄、自己肯定感を育む（よど検）、事業名をこのようにしておりますが、現在の淀川区学力向上支援事業、いわゆる漢検の事業でございます。この間いろいろお話をさせてもらって、漢検以外の検定にも参画できたら、というようなお声もいただいており、来年度につきましては、事業の説明の欄の4行目から太字で書いておりますように、中学校につきましては漢検以外にも英検や数検等をセレクトできるような形で予算編成を組んでいただいております。複数の検定の受検も可能ということなんですけども、調整させていただけたらと思っております。これまでは学力向上と直接的に言ってたんですけども、どちらかというと学習習慣の定着であるとか、意欲の向上、自己肯定感の向上とかいうふうなことをきっかけとしての学力向上をめざす事業でございますので、事業名称の学力向上という言葉あまり前面に出さないようなイメージに変えたところでございます。これまでの漢検の枠を少し広げたというふうに考えていただければと思います。

二つ目の民間事業者を活用したヨドジユクの方なんですけども、予算のところ見ていただくと、ちょっとガクンと減ってるようには見えるんですけれども、これは、実は入塾された時と、3学期の初めぐらいに、いわゆる学習到達度といいましょうか、学力の検証テストを事業者の方で実施されています。事業の開始当初は、そのテストを区の方から実施してくれ

と、別途お願いをする形でお金を積んでたわけなんですけども、そもそも今入っている塾の事業者さんに関わらずですけども、一般的な塾は入塾された時とか、最終の中学校3年生の受験直前とか、そういうふうな到達テストは当然やられてると思いますんで、その辺の話を事業者と話した上で、一般的なこれまでの事業費の中で、運営して欲しいということで、削減することができた状況です。事業の中身としては特に変わっておりません。

次は小学生ですので、4段目のよどっこ運動のすすめでございます。これはよど検と同じでございますが、これまで「児童生徒の体力づくり支援事業」というふうな看板でやっていたわけなんですけども、直接的な体力を作るというようなことではなく、苦手意識を取っ払いとか、いわゆる運動のコツを教えて覚えてもらおうとか、そういうようなことを一義的にやっている事業ですので、名称を変更しております。中身については水泳やダンス、走り方、そういったことが苦手な子どもから得意な子どもまで差はないようにしています。中学校につきましては、宮原と東三国以外お使いになっていないので、是非ともお使いいただけたらと思っておりますので、よろしく願いいたします。

次の睡眠習慣改善支援事業、いわゆるヨドネルということで、看板を掲げてやってきましたけれども、予算としての案はゼロにしております。平成27年ぐらいから睡眠習慣を変えて正しくしていく、眠りの質を良くしていくということが、生活リズムがよくなる、ひいては学力の向上にも繋がるということで、積極的に取り組んで参りましたが、一旦もうやめるというわけではございませんでして、学校から講演会のご要望とかがあれば、もちろん我々今まで派遣してもらったところと繋ぎはいたしますけれども、大々的な看板はこの辺にしておいて、事業予算としては計上しておりませんが、ご要望にはしっかりこたえていけるような繋ぎはしていこうと考えておりますので、よろしく願いしたいと思っております。また、次に説明いたしますが、12月がヨドネルの睡眠月間となっております。これを推進していくことは継続的にしていこうと思っておりますので、区として事業をとりやめるというわけではなく、大々的に推していくようなことを一旦引いていこうかなというところで考えております。

次の生涯学習推進事業、こちらに関しては、少し予算を上げているんですけども、中学校においては、図書館ボランティア、区の広報紙においても、ホームページにも掲載して、募集しておるところですけども、次年度はボランティアへの研修費用とかも、多少積んでおります。あとその下の3つ、学校体育施設開放事業、生涯学習ルーム、はぐくみネット事業、これらは他区と同様でございますので、例年通りの事業実施を進めていきたいと考えております。下から4番目の人権啓発、こちらもちラシとDVDを来年度も作っていこうということで予算は組んでおります。

その次のスクールカウンセラーの配置ですけれども、もともとこども青少年局の事業として始まっておりまして、中学校では各学校に1名配置し、さらに小学校へ派遣するために中学校に1人置いて、その中学校区の校下小学校に派遣しているという事業ですが、淀川区におきましては、2小1中、3小1中、十三中においては5小1中と、一人が小学校用に中学校に勤務されても、5小1中の場合は、5週に1回しか回ってこないという不公平感があるところを、区の費用を充てて、できるだけ均衡になるように、増員の配置を進めてきました。概ね2週に1回、小学校に派遣できるような体制は作ってきたところですが、いまだ十三中校下小学校では3週に1回の小学校もあるところがございます。今回、大阪市全体として、ヤングケアラーへの対応強化ということで、重点予算が組まれた中の枠の一つとして、1名増員配置で予算あがっておりますので、その部分を3週に1回配置している小学校、具体的には木川南・西中島・十三小学校が該当するんですけども、こちらの方に配置をして、すべての小学校の中に、2週に1回派遣できるような形をとろうというふうに考えております。

最後の通学路安全プログラム。これは小学校の話なんですけども一応ご報告です。本年6

月に千葉県の八街市でトラックが通学路に突っ込んだということがありまして、文科省、国交省、或いは警察庁の方から、全学校の通学路について安全整備をせよという指示がありました。淀川区でも9月、10月に合同点検を実施したところです。特に予算はございませんけれども、通学路の安全確認をやっていきたいと考えております。来年度実施を考えておる事業につきましては、以上でございます。本件について何かご質問はありますか。

○屋島 十三中学校長

このヨドネルは、長い間やってきたんですけど、そこに謝礼が発生するようなことはないですね。西川（株）さんに講演とかしてもらったり、今までの資料を配布していただいたりとか。

○井上課長

講演会を希望されている学校の講演料の予算を区で計上してきたんですけども、来年度以降は、そこまで強く看板を出していきこうとは思っておりません。ただ、睡眠習慣の改善っていうのは別にもういらないと言っているわけではございません。パンフレットとかリーフレットは我々の方で持っておりますので、配付したいとの要望があれば、可能な限り準備をしたいと考えております。先ほど言いましたように、費用はちょっと出せないんで、講師の謝礼など発生した場合には、学校の費用でお願いしたいと考えております。

○山岡 三国中学校長

すいません。うちの学校の関係で、北中島小学校、本校の校区ではないんですが、スクールカウンセラーが実は、今年も北中島小学校に、時間を取られてるんです。

○井上課長

今年もとられてますか。

○岡田係長

いや、今年は戻ってると聞いてます。

○井上課長

戻ってるよね。今年戻ってると思うんですけど。

○山岡 三国中学校長

戻ってないんですよ。電話があつて。実際は戻ってないと。我々は戻してもらわないと、本校の予約が入らないような状況です。

○井上課長

確認します。確かに2、3年前、周辺の中学校、東三国や宮原からももらってました。ただ、今年度始まる段階で中学校の分は戻すということで予算を積み増したり調整はしておりましたので、確認します。

○山岡 三国中学校長

どうしても800軒の家があると希望がなかなか普通の体制でもとれない状況で、やってますんで、今年はお願ひしたいと思う。

○井上課長

確認して、連絡させていただきます。

○風間 新北野中学校長

すいません、区役所じゃないんだろなあと思うんですけど、通学路の関係で歩道橋の、設置、撤去はどここの管轄なんですか。実は本校の正門前に歩道橋がありまして、当然その歩道橋の階段が歩道上に設置されてるから、その間、歩道は半分になってるんですよ。毎朝登校指導する際に、こちらは学校の前、自転車がすごい行き交ってる。子どもたちと場合によっては危ない、衝突するしかけることが非常にあって、今うちの子供たちは、大人しいからきっちり指導して1列になって歩けなんていう指導をしてるんですけど、それでも歩道橋の階段から降りて、すぐに正門やから、歩道橋の階段降りてすぐに正門に飛び込もうとするんやけど、当然そこの前、自転車もビューと飛ばしていく。当然歩道上にも自転車道っていうのはあるんやけど、その自転車道の上に歩道橋の階段があるから。何でこんな構造になってるんやろうなあって、歩道橋が先なんか、校舎建て替えて正門を持ってきたのが先かわからんのですが。それともう一つは、北野高校の近くにも、実は交差点のところ歩道橋があって、やっぱりうちの正門前と同じように、歩道橋の階段が、歩道上の自転車道を塞いでしまってるから、そこのところに高校生が、通学時間帯なんてズラッともう列なして、そこを自転車が縫っていくと。場合によっては、歩道上を通られへんから車道上、しかも逆走で自転車が行き交ってる。非常に危ない。実は北野高校さんと、うちもいろんな交流があるんで、北野高校の校長先生から、こないだ面白い話聞いたんです。要はそのところで、北野高校の生徒が、たくさん来るもんで、自転車が通られへんっていうんで、よくお叱り受けていると。北野高校がそうやって、通行者からお叱り受けて、「新北野中学校の生徒を見習え」と、「新北野中学校の生徒はおんなじような状況の中でも1列にちゃんと並んで歩いてるやないか」と、「お前のところ高校生やねんから、見習ってお前ちゃんと指導せえよ」、とお叱り受けますね、というふうには言うてはったんですよ。それはうちにとったらええことやから、生徒主事にいうて何かの形で子どもに返したりや、というふうに言ってんねんけど、ただ本校も非常に危険を感じている。今はコロナの関係で、同じ道路に面している何メートルか離れた通用門を開けて、そこを3年生が出入りし、1年生2年生は正門を出入りするというふうに分散したから、まだちょっとマシにはなってるんやけど、正門の、うちの学校の配置が先なのか、歩道橋の設置が先なんかわからんけど、非常に場所が悪い。いずれの交差点も、横断歩道がその部分ないので、歩道橋を設置しているんやろうと思うけど、通学路的にはかえって危険な状態になってしまっている。北野高校さんのところもそうです。うちの正門前のところもそうやし。歩道橋取っ払って、横断歩道作ってくれたらいいのに。交差点はすぐ近くにあるんで、そういうふう思う。歩道橋の設置とか、そんなんは警察ですか。

○井上課長

事務的には恐らく建設局、許可とかは、警察の許可を得て設置をしてるんで多分そのあたりかとは思いますが。地域の要望がないと多分、難しいです。ただ新北野地域は小学校がないんでね、神津小に通うために、信号で時間的な制約なく移動できるようにいうようなことが、当初は昭和の時代だと思うんですけど、あったんじゃないかなと。

○風間 新北野中学校長

今見てたらうちの例えば正門前の歩道橋、使ってるのうちの生徒ぐらいなんです。

○生駒代理

神津小の、別の地点の歩道橋の点検の時、私も同行したんですけども、できた当初は歩道橋ないと危険やからっていうので作ったということでした。ただ、その地点の歩道橋については、今、神津小の子どもたちとか先生の方でも通学路であんまり使わないような指導してしまっておられるということで、「歩道橋の代わりに横断歩道を整備してほしい」と言われたんです。

けれども点検の際に、「まず第1に安全が一番確保できるのは歩道橋なんで、それを使うのが大事ですよ」ということを確認しました。本当に使わないんだったら「もう使わない」って撤去して横断歩道で渡るということになりますが、今はまだ学校との間で「本当に歩道橋を使わないでいいのか。通学路のルートをどうするのか」という話になってます。

また、塚本小では通学路に歩道橋が3つある中で、もう古くなって使わなくなったものを1つ撤去されることになっています。それはですから、「小学校・中学校と地域との合意で無くすということも可能」という例はあるということです。

神津小の方からは、ご指摘の地点の歩道橋を無くすとか、その降りたところの危険性がどうという話は聞いていなかったの、そこもちょっと合わせて、神津小に確認させていただいて対応させていただこうと思います。

○風間 新北野中学校長

来はったら、ようわかると思います。本当にうちの前、自転車ビュンビュン飛ばしてはるから、うちの子らにきちっと指導してなかったら絶対衝突事故起こるよなあ。自転車で通勤してはる人も、気使ってくれる人が車道通るけど、全く逆走状態で、あれも危ない。

○井上課長

そうですね。わかりました。地域と話して、進めたいと思います。

それではレジュメ進めたいと思います。2番目の分権型教育行政の情報提供ということで、1番目「ヨドネル睡眠月間について」です。

○岡田係長

資料2をご覧ください。平成27年度から、子供の睡眠習慣改善の取り組みを進めており、その一環としまして、令和元年度から、毎年12月をヨドネル睡眠月間と定めています。今までずっと学校で取り組んでいただいていたものが、学校だけの取り組みではなかなか進まないということもありまして、保護者、地域への啓発をもっとしていくべきじゃないかということで、いろいろご意見いただいた上で設定をさせていただいております。区のホームページですとか広報紙「よどマガ！」で、周知をしていきますが、各学校でも例えば、生活習慣の点検ですとか睡眠週間の設定とか、年間を通じてされてるかと思うんですけども、この12月に合わせて、なるべく取り組んでいただければと思っております。また、昨年度までに配付しております「ねむりのヒミツ」「ネムリヒミツラボ」というリーフレット、すいみん白書というのがございます。本日の資料にも付けております、すいみんチェックシートですとか、そういったものも使いながら、啓発を行っていただければと思っております。配付の希望がございましたら、こちらで印刷してお渡ししたいと思っております。内容につきましても、こういうふうにして欲しいというのがご希望ございましたら、なるべく対応していきたいと思っておりますので、どうぞご活用ほどよろしく願いいたします。

○井上課長

続けて、2番目の淀川区冬休み子ども相談についてです。

○石田係長

「淀川区冬休み子ども相談」の広報協力について、説明させていただきます。先に実施いたしました、夏休みの子供相談の際には広報へのご協力、本当にありがとうございました。引き続き人権啓発推進員さんからのご協力をいただきまして、冬休み子ども相談を実施させていただきます。実施内容ですけれども、実施日程、場所につきましては、年が変わりまして令和4年1月5日の水曜日、淀川区役所6階の会議室。そして、1月6日の木曜日は、淀川図書館2階集会室で開催を考えております。相談時間・体制につきましては、午前10時から12時、午後は14時から16時。それぞれの枠、人権推進員さんが相談の対応させていただきます。対象者は、淀川区在住の小学生、中学生、高校生です。広報といたしまして、広報誌のよどマガ12月号、区役所ホームページとツイッター、そして今回市民局の方にも広報協力をいただきまして、マックスバリュー淀川三国店、他イオングループ5店舗におきまして、ポスター、チラシを掲出いただこうと思っております。以上に加えまして、学校でのポスターの掲示、教室であったり保健室など、子どもの目のつきやすい場所へ、ポスター掲示等、広報のお願いしたいと思っております。

○井上課長

続いて3番目のヨドジユク無料体験についてです。

○石田係長

資料4をご覧ください。民間事業者を活用した課外授業ヨドジユクの無料体験会の実施につきまして、ご説明をさせていただきます。2学期始めに逡送で送付させていただきました受講生募集用のチラシポスターにつきまして、全生徒への配付であったり校内への配架、ポスター掲示など、ご協力いただきまして本当にありがとうございました。広報の効果というところですが、10月に9名の新規入塾者がございます、反響があったのかと思っております。無料体験会につきましては、こちらの対象は小学生6年生から中学生2年生までということで、科目は英語と数学ですが、その他学習内容につきましては、生徒の方が持参する教材などを使いまして、個別での対応もさせていただこうと思っております。会場場所が美津島会場、美津島中学校の方で、日程としましては、美津島会場のヨドジユク開放日、12月の8、9、15、17、22、24と、6日間、予定しております。時間につきましては、1コマ目が19時から20時10分まで、2コマ目が20時25分から21時25分とさせていただきます。申し込みにつきましては、トライグループさんの方で、電話申し込みの先着順での申し込みとなっております。受付の開始は12月1日水曜日を予定しております。広報としましてはよどマガの12月号と、区役所のホームページ、ツイッターでの方法と考えております。私からの説明以上です。

○井上課長

以上情報提供3点でした。これも含めて全般的に何かご意見、ご質問等ございましたら、ありますでしょうか。ヨドジユクの無料体験、僕も淀川区の前は別の区で同じような事業をやっておったんですが、見学会というのは、やってくれるんですけども、これ無料体験なんで本当に来た方が実際に指導していただくということなので、契約上5対1、少人数指導の講師の方が来られるんですが、この無料体験を希望されてる子どもが増えれば、それだけの講師も派遣いただけるようなことになっておりますので、ぜひ、来ていただければなと。

議題とは関係なくフリーでお話できたらと思うんで、何かご意見等ございましたら、いかがですか。

○岡本区長

もしあれば、屋島校長先生、この間の講演会の話をお願いできますか。

○屋島 十三中学校長

はい。この人権啓発推進事業のところを見ながら、区役所の方、「淀川区大志育成プロジェクト」ありがとうございます。おかげさまで、宮城県から来ていただいた、高橋さとみ先生という命に関わる事業を展開されてる方に、講師謝料をしっかりと払うことができよかったなあと考えてます。学校独自でやると、そんなお金出せるとこないの、本当によかったです。ただこれ、淀川区で本校させてもらって、小学校も含めて、いろんなところがこういうことやろうと思ったら、当然、予算逼迫してしまうから難しいですかね、大丈夫ですか。

○岡本区長

そういう状況であれば、また予算を考えますし、実行でいろいろ引っ張ってこれるところもあるので。

○屋島 十三中学校長

高橋さとみ先生が、Facebookにも書いてあったんですけど、先日十三中でやった時に、十三中はすごいと、えらい褒めていただいて、何かって言ったら、子ども向けの授業、それから教職員向けの研修会。それから地域、保護者、保護司会、民生児童員等の方々への3者に対して、講演会をしていただいたということで、それも昨年やってまた今年もやったということで、継続してやることによる、子どもたち、また教員、それから保護者の方もそうですけども、かなり子どもたちの自尊感情等を育むうえでは、いい形を作りつつあるなど。こういう学校は日本どこ見ても十三ぐらいです、これ十三モデルですと、Facebookでえらい褒めていただいた。ぜひ十三で始まったとこなんですけども、小学校、中学校も含めてこういうふうな授業ができれば、SOSを発信できる子どもたちを作るうえで、それを受けとめる大人側の姿勢みたいなものも育むことができるのかなと思います。よく皆さんご存知のアンパンマンを見させて子ども向けに指導されてる。アンパンマン、最後にバイキンマンに勝つんですけども、でもそこバイキンマンに勝つのは圧倒的な力というよりも、周りのいろんな支えがあった上でバイキンマンにああいうふうな結果を出すっていう、これは人間においても一緒に、誰でもそうだけど人間は定期的にしんどくなるけれども、周りの支えがあったから、そこで心を強く持って、立ち向かっていけると。例えば支えられながら、子どもって育っていくのかなっていうか、決して1人で抱えず発信すること、それを聞いて助けようとする、そんな姿勢が周りにも育ってるのかなっていうふうな、そういうものを今年の2~3年生は去年から授業を通じて、2年間、実施したことによって、そういう成果が深められてきたかなというふうに思います。実際に女の子で去年あったことなんですけど、生理が2ヶ月ほど来なかった子が、この講演活動、この事業に参加することで、保健師の養護教諭の方にSOSの形で発信した。私生理がなくなったんですよ。話を聞いてみたら、卒業生の高校生の男子の先輩とそういう関係を持ってしまったということをやんやんやん。なかなか親にも発信できない中で、こういう形でこの授業に参加することによって、SOSを発信していいんやと。そこで気づき、身近な先生に相談してくれてよかったなあと。本当にヤングケアラーもそうですけど、虐待も含めて、淀川区の子どもたちの抱える生活背景のしんどさみたいなものを、1人で抱えず、ぜひ身近な先生方であるとか、場合によっては地域の大人たちに発信できるそういう機会になるんじゃないかなと思ったりしました。区役所の大志の事業ですけども、今後ますます、これを使わせてもらいたいの、予算もしっかりつけていただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

○井上課長

金曜日の午後の部に、僕行かせてもらって、小学校の校長先生も来られてて、他はどこの人か、先生はわからないんですけども、結構席の半分近くは埋まってたかな。

○屋島 十三中学校長

子ども向けに170席ぐらい作ったら、そこに集まったのは、少ないなとも言うけども、2日目の土曜日ですと、結局70数名集まったんで、このコロナ禍で体育館たくさん集まれない中で、そんだけ集まった。残念なのは、聞いてもらわなきゃならない、本来の保護者が、いつの時代もそうなんですけども、本当に聞いてもらいたい親が、来てない。もう本当に、聞かなあかんのあんたやろという人が来てない。その人たちが普段我が子に対して、もう本当に傷つけるようなことが起きてるんじゃないかと思って、そういう親に聞いてほしかったと思います。ぜひもし、区からも発信していただけたらと思っています。アンケートの結果なんかも出てるんで、またそのことをまとめるんで、ぜひ区の方にも、また見ていただければと。

○井上課長

淀川区、教育委員会の傘下の中では第一教育ブロックということで、西淀川、淀川、東淀川、此花、港の5区ひとくくりということで、こういった予算編成も含めて、そのブロック会議みたいな、年3回ぐらいあって、不定期ですけどもやっています。この12月にも一応予定されております。Teamsで、リモート会議で各区長が参加して意見交換されるんですけども、現場でこんな声が上がってるみたいなのを、何か伝えることも可能なんで、何か教育委員会に伝えるルートもいろいろあると思うんですけども、もちろん先生方も直接指導部の先生にバツと言いはると思うんですけど、そうでもなく区役所を通してルートもありますんで、何かそういうこととかございましたら、我々の方からも現場こんななんなんですよみたいなのはいえるのかなと思っておるけど、いかがでしょうか。

○岡本区長

先日の校長面談でお話いただいた点については、教育委員会と情報共有をしていきたいなというふうには思ってますんで、今日も聞いていただいて、ご要望されたことについて、我々が聞けるものは我々の方で対応しますし、少し教育委員会の方とも相談せなあかんと思うことについては、全部教育委員会の方に要望という形で、区役所としてはしっかりやっついていこうかなと考えています。それ以外でも。もし何かおっしゃっていただければ、機会ととらえて話していただけたらと。

○井上課長

次回はもうちょっと、こちらからもネタを用意させていただきます。

特にないようでしたら通常の校長会に戻っていきたくて思っております。それでは教育行政連絡会はここで終わらせていただきます。ありがとうございました。